

月刊公民館

1

JANUARY
2023

昭和33年7月15日 第3種郵便物認可 令和5年1月1日発行（毎月1回1日発行）1月号通巻788号

特集 新しい公民館のカタチ（上）



公益社団法人 全国公民館連合会



あなたは化粧をしていますか？

女性であれば、ほとんどのひとが「はい」と答えてくださるかもしれません。男性だと「オレは化粧なんてしない」というひとのほうが多いかも。一般的に化粧といえば、口紅やアイシャドウといった装飾的な化粧をイメージします。ですが、肌の手入れのスキンケア、汚れ落としのクレンジング、香水、デオドラント、整髪なども化粧なので、老若男女みなさん化粧をしていることになります。

化粧は「化ける」に「補う」と書くため、取り繕ってだれかをだます行動だと考えるひとも少なくありません。そのため、小学生はもとより中学生や高校生が化粧をすると、「うわべのことばかり気にしないで勉強して内面を磨きなさい」なんて怒られたりします。ですが大学生や社会人が化粧をしていないと今度は、「化粧くらいしなさい」なんて言われたりするのでおかしなものです。

どうしてひとは化粧をするのでしょうか。化粧のことを英語でマイクアップといいますが、これは「補う」という意味です。では、なにを補っているのでしょうか。一つには、そのひとの内面です。本当は優しい性格なのに、それが見た目で相手に伝わらないことがあります。ときには、顔が強面なせいで乱暴なひとだと誤解されることもあります。そのため、内面どおりに優しい人間だと思ってもらえるように、自分の外見に足りない優しい印象を化粧で補うわけです。

化粧をするとき、わたしたちは「なりたい自分／他人からみられたい自分」をイメージして、それを表現しようとしています。ただ、美人やイケメンに見られたいからではありません。化粧をした顔には、内面も含めた本来の自分の姿やこういうひとになりたいという未来の自分の姿が投影されているのです。

なぜひとは化粧をするのでしょうか？



化粧心理学者・博士
(教育学)

平松 隆円

